

大学改革を推進する8分野に関する主な取組

分 野	実施事項	実施内容
1. 活力ある大学をめざして	四国大学スタンダードの策定	学生に確実に身につけて欲しいものとして、「社会人基礎力」「自己教育力」「人間・社会関係力」の3つを掲げた四国大学スタンダードを策定し、目標達成のためのプログラムを構築し、平成26年度より実施しています。
	芸術分野特別入試・奨学金制度の創設	書道・デザイン・音楽の各分野で高等学校在学中に優れた成績を収めた者を対象に特別入試を行い、併せて奨学金を給付する制度を創設しました。
	スポーツ分野特別入試・奨学金制度の創設	陸上競技、弓道、女子サッカー、女子バレーボールの各種目において高等学校在学中に優れた成績を収めた者を対象に特別入試を行い、併せて奨学金を給付する制度を創設しました。
	AO入試(体験型)の新設	本学の実施する講座・セミナー等に参加した高校生を対象に、AO入試(体験型)を大学(管理栄養士養成課程、看護学科を除く。)、短期大学部で実施します。
	各入試方法の改正	一般入試にS型を新設し、資格利用入試をAO入試(自己推薦型)に統合しました。
	入学試験会場の増設	受験生の利便性を図るため、推薦入試及び一般入試(1期)の試験会場を県南(阿南市)及び県西(美馬市)に増設しました。
	大学院に長期履修学生制度を導入	大学院各研究科において、修業年限を超えて教育課程を履修可能な長期履修学生制度を導入しました。
	高大連携事業の拡充	本学との包括協定を県立高校8校と締結し、さらに生光学園との教育連携に関する協定書を締結しました。
	オリジナルマスコットキャラクターの開発	四国大学オリジナルマスコットキャラクターを「しこぼん」に決定し、グッズや着ぐるみを製作しました。
	ホームページのリニューアル	効果的な情報公開のためホームページをリニューアルしました。
	スマートフォン用サイトの開設	効果的な情報公開のためスマートフォン用サイトを開設しました。
	同窓会等との連携	同窓会等と連携し、ホームカミングデーを開催しました。
	「同窓会ふれあいルーム」の開設	大学と同窓会との連携を密にし、同窓会活動の活性化に資するための拠点として本学大学会館3階に「同窓会ふれあいルーム」を開設しました。
	四国大学広報戦略の策定	四国大学ブランドの確立と学生確保を目標とした四国大学広報戦略を策定しました。
短期大学部出張講座の実施	短期大学部のAO入試(体験型)に対応した体験講座を県内外6ヶ所で実施します。	



分野	実施事項	実施内容
2. 教育力の向上	文学部日本文学科に「文芸創作」分野の新設	平成24年度から「文芸創作」分野を新設し、文章表現力及び文芸的な文章力をもった人材の養成を行っています。
	文学部書道文化学科に「商業書道・デザイン書道」分野の新設	現代の社会において卒業生が多様な分野で活躍できるよう、平成24年度から「商業書道・デザイン書道」の分野を新設しました。
	生活科学科に『心理・養護コース』を開設	社会や高校生からのニーズに応じて心理学・カウンセリング能力を修得した養護教諭を養成するため、平成26年度より生活科学科に『心理・養護コース』を開設しました。
	短期大学部ビジネス・コミュニケーション科のコース増設	高校生の多様な要請に応え、4コースから6コースに増設(ビジネス情報コース、ビジネス実務長期履修コースを開設)しました。
	学生の視点に立ったカリキュラム等の見直し、改善	現行カリキュラムを見直し、四国大学スタンダードの設定や、初年次教育、キャリア教育等の充実を図るとともに、点検指標を作成し、カリキュラム改善案が改革の目標に沿ったものとなっているかを検証しました。
	補習教育プログラムの開設	大学教育において必要な補習教育を組織的に行うため、「学習サポートプログラム」を開設しました。
	就業力支援事業の実施	文部科学省採択の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実整備事業」に基づき、授業科目を改善・充実しました。
	カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの見直し	カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの見直しを行い、各学科等の新しいポリシーを策定し、平成26年度より適用しています。
	社会からのニーズ、高校生に魅力あるプログラムの創出	各学部・学科等の人材養成に沿った順次性のある体系的なカリキュラムになっているかを検証し、社会からのニーズや高校生に魅力あるカリキュラム改革を実施しました。
	共通教養教育の改善	全学共通の教育を全面的に見直し、学生が身につける内容を明確にし、「全学共通教育」としてスタンダード関係科目、初年次・基礎教育科目、キャリア教育科目など5つの科目区分に再編し、平成26年度より実施しています。
	全学共通教育センターの設置	全学共通教育の教育課程の編成と円滑な運営を図るとともに、教育内容・教育方法の改善・充実及び検証・評価を行うことを目的として、全学共通教育センターを設置しました。
	初年次教育の改善	初年次教育に関する課題の抽出を行い、全体のカリキュラム改革の中で新しい初年次教育を実施するための改善案を策定し、平成26年度より実施しています。
	キャリア教育・職業教育の体系的整備	新しいキャリア科目(必修科目・選択科目)を決定し、科目の到達目標を可視化するための一覧表を作成しました。
	コアカリキュラムの開発	中国語、韓国語の会話能力を育成するためのコアカリキュラムを開発しました。
自己教育力に係るポートフォリオシステムの導入	四国大学スタンダードにおける「自己教育力」を身につけるためのポートフォリオを活用した教育システムを開発し、平成26年度より運用しています。	

分野	実施事項	実施内容
2. 教育力の向上	人材養成の達成度に係る評価基準の策定	各学部・学科等が目指す人材養成像を明確にし、学科毎に人材養成の達成度に係る自己評価指標・項目を定めるとともに、人材養成の評価に係る具体的内容(カリキュラムの評価指標・項目、教育方法等の評価項目)を策定しました。
	自己教育力GUIDEの作成	学生が、四国大学スタンダードについて理解を深めるとともにポートフォリオを活用して「自己教育力」を身につけるためのマニュアルとして「自己教育力GUIDE」を作成し、学生及び教職員に配布しました。
	カリキュラムマップの作成	教育改革に伴う新カリキュラムを実施するため、各学科・専攻で開設する授業科目や免許・資格取得別及び前・後期別に望ましい履修形態を示した「カリキュラムマップ」を学科毎に作成し、配布しました。
	就業力育成カリキュラムマップの作成	学生が、就業力に関する内容を順次性をもって系統的に理解し、就業力を身に付けるための望ましい履修形態を示した「カリキュラムマップ」を作成し、配布しました。
	教育活動等顕彰制度の創設	教育力の向上等を目指した教育活動や業務運営等で優れた成果を上げている取り組みに対し顕彰する制度を創設し、平成26年度より実施しています。
	新しい教育改革プログラムの実施	本学のカリキュラム改革の視点に基づき、新たに設定した四国大学スタンダードを含めた全学共通教育の再編及び各学部・学科の専門教育の全面的な見直しを行い「教育改革プログラム2014」を決定し、平成26年度の新入生から実施しています。
	FD活動の充実	「FD活動プロジェクトチーム」を設置し、FD活動の活性化を図っています。
	短期大学部学科のコース再編	<p>社会や高校生からのニーズに応じて、学科のコースを見直し、ビジネス・コミュニケーション科、人間健康科食物栄養専攻及び音楽科においてコースの新設・再編をしました。(平成27年度)</p> <p>ビジネス・コミュニケーション科……………(コース再編)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光ビジネスコース → ● 地域ビジネスコース <p>人間健康科食物栄養専攻……………(コース新設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 栄養・食育コース ● 栄養・食品コース <p>音楽科……………(コース再編)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クラシック音楽コース ● 演奏コース ● ポピュラー音楽コース → ● ビジネス・音楽療法コース ● 音楽療法コース ● 音楽制作コース
	経営情報学部学科コースの再編	<p>経営情報学部の2学科で、地域社会からのニーズが高い「流通マネジメント」、「スポーツビジネス」、「eビジネス」の3コースを新設し、これまでの4コースから7コースに再編します。(平成28年度)</p> <p>経営情報学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経営情報コース ● ビジネス経営コース ● パブリックマネジメントコース → ● 流通マネジメントコース ● ● 公共・地域経営コース ● ● スポーツビジネスコース <p>メディア情報学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 映像メディアコース → ● eビジネスコース ● 情報システムコース ● メディアデザインコース ● ● 情報システムコース

分野	実施事項	実施内容
2. 教育力の向上	短期大学部人間健康科介護福祉専攻で留学生用3年コースの新設	本学の介護人材の養成経験を基に、平成28年度から外国人留学生を受け入れるため、3年制のコースを新設しました。
3. 充実した大学生活への支援	大学院奨学金制度の創設	成績・人物ともに優秀な者に対して奨学金を給付し、研究支援と人材育成をする制度を平成24年度から実施しています。
	四国大学教育奨学金制度の創設	在学期間中における学業成績が優秀である者を支援するための奨学金制度を創設しました。
	地方公共団体等推薦者に係る入学料及び授業料の減免制度創設	徳島県内の地方公共団体等のうち、職域推薦を受けて本学大学院各研究科(経営情報学研究科博士後期課程を除く。)に入学した者に対し、入学料の全額及び授業料の半額を免除する減免制度を創設しました。
	学生サポートセンターの開設	学生のワンストップサービス推進のため、学生サポートセンターを開設しました。
	学修支援センターの充実	特別な支援が必要な学生の支援体制を充実するため、「学修支援センタースタディールーム」を開設しました。
	チューター制度の創設と教員サポーターの設置	学生一人ひとりの個性に合わせたきめ細かな対応及び教員と学生のコミュニケーションをさらに深めるため、新チューター制度を創設しました。さらに、特別な支援を必要とする学生のために、必要に応じてチューターを補佐する「教員サポーター」を設置しました。
	学生カルテの導入	総合的な学生支援体制の充実のため、学生総合情報を活用する「学生カルテ」を導入しました。
	学生支援GP制度の創設	学生が企画立案する独創的な取り組みを支援する制度を創設しました。
	研修クラブ活動の推進	人間関係を深め、人間力を高めて、充実した学生生活を送るために、研修クラブ活動を積極的に支援しています。
	研修活動奨励金制度の創設	課外活動で活躍した学生又は団体に対して、父母会・後援会・同窓会から奨励金(スポーツ活動奨励金、文化活動奨励金、社会貢献奨励金)を給付する制度を創設しました。
	同窓会による高大接続キャリアアップ支援プログラムに対する支援	本学が実施するキャリアアップ支援講座受講生の優秀者に対し、同窓会からリクルートスーツのクーポン券を贈るなど、学生を支援しています。
	四国大学女子サッカークラブの創部	スポーツ分野特別入試・奨学金制度と連動して平成27年度4月に女子サッカークラブを創部し、監督に徳島ヴォルティスでトップコーチを務めた平田英治氏が就任しました。
徳島県介護福祉士養成のための授業料等免除制度の創設	徳島県の介護福祉士養成のための貸付制度と連携した授業料等減免制度を設け、本学で介護福祉士を目指す学生を支援しています。	

分野	実施事項	実施内容
4. 就職支援の充実	教員・公務員試験対策講座等の開設	教員・公務員合格者の増加を図るため、新たに対策講座を開設しました。
	高大接続キャリアアップ支援プログラムの開設	高校と大学・短期大学部を通じた学びの中で資格取得による本人のキャリアアップの意欲、やる気を助長し、幅広い職業選択と就職力のアップを目指す支援プログラムを開設しました。
	BC科公務員コースにおける長期履修制度(3年)を利用した特別カリキュラムの創設	短期大学部ビジネス・コミュニケーション科公務員コースにおいて、長期履修制度(3年)を利用した特別カリキュラムを創設しました。
	四国大学特別就職支援プログラムの開発(キャリアアップ研修生制度)	未就職のまま本学を卒業した者を対象として、継続的な就職活動を支援する制度を設けました。
	四国大学OB・OG支援プラン実施要項の制定	本学卒業生の早期離職を低減することを目的に、支援体制の整備・充実等を図るためのOB・OG支援プランをスタートさせました。
	キャリアセンターの開設	キャリアセンターを設置し、学生のキャリア形成・就職支援の一層の充実を図っています。
	キャリア教育、職業教育の指導体制の整備	キャリアカウンセラー(臨床心理士)と産業カウンセラーを配置し、学生の進路や生活についての相談体制を充実させました。
	徳島大学及び関係機関等との人材育成事業の実施	本学と徳島大学が徳島県内の経済団体・国・県の関係機関と協働して「徳島県産官学人材育成連携会議」を設置し、人材育成事業に関する取り組みを開始しました。
	公務員試験対策学習室の開設	公務員試験の合格を目指す学生を支援するため、平成26年7月に「公務員試験対策学習室」を開設しました。
(公財)徳島産業振興機構上海代表処とのインターンシップ協定の締結	本学から中国湖南省湘潭大学へ留学する学生が、海外でのインターンシップを経験するため(公財)徳島産業振興機構上海代表処と協定を締結しました。	
5. 魅力ある研究活動の推進と大学院教育の充実	プロジェクトチーム方式による学際的、総合的な研究活動の推進	4つの附属研究所等を中心に、プロジェクトチーム方式による学際的な研究活動を推進しています。
	科学研究費補助金採択推進プロジェクトチームによる取組	科学研究費補助金採択推進プロジェクトチームにおいて、アドバイザー制度を創設するなど、研究活動の活性化を図っています。
	サバティカル研修制度の創設	本学の専任教員のうち、教育・研究に成果をあげた者に、国内外において調査研究に専念できる期間を与え、教員の教育・研究能力の向上を図るサバティカル研修制度を創設しました。
	学術研究活動の推進	「学校法人四国大学・四国大学学術研究助成規程」を一部改正し、本学で取り組む学際的・総合的研究など特色ある研究活動等の一層の推進を図ることとしました。
	看護学研究科の設置	看護の高度な専門的知識・技術により、地域の保健医療福祉に貢献できる人材を養成するため看護学研究科を平成25年度に設置しました。
	大学院研究科の教育課程等の充実	時代に応じた大学院教育の充実を図るため、各研究科の教育課程の見直しと研究指導体制の整備及び修了生の就職支援方策等の検討を行い、平成27年度より実施しています。

分野	実施事項	実施内容
6. 社会・地域への 貢献と国際化	地域貢献活動の推進	「わくわくイングリッシュセミナー」などの高大連携をはじめ、地域貢献活動の支援体制を整備し、各種活動を推進・充実しています。
	公開講座の充実	高校生の講座受講料の半額補助や、利用者のニーズに応えた新たな講座の開講など、公開講座の充実を図っています。
	大学教育開放事業の創設	本学の教育課程の一部を学外者も受講できる制度を創設しました。
	図書館の一般開放	本学図書館を高校生、地域住民など一般に開放しています。
	徳島県議会との連携	地域課題に迅速・的確に対応し、魅力ある地域づくりや地域における高度な識見を有する人材の育成に資するための協定書を締結しました。
	徳島県や県内の自治体との連携協定を締結	地域社会への貢献を目的に、徳島県、徳島県議会、徳島市、鳴門市、美馬市、松茂町、北島町、藍住町、東みよし町、美波町、海陽町と包括連携協定を締結しています。
	県内産業団体等との連携協定を締結	産学連携を推進するため、日本政策金融公庫徳島支店、徳島県マリニピア沖州産業団地協議会、(一社)徳島新聞社、四国放送(株)と連携協定を締結しています。
	各種スポーツ関係団体等との連携協定を締結	地域のスポーツ振興を目的に、徳島ヴォルティス(株)、(株)アイナックコーポレーション、徳島県バレーボール協会、(一社)徳島県サッカー協会、徳島県弓道連盟、(一財)徳島陸上競技協会、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と連携協定を締結しています。
	国際交流協定大学の拡充	国際交流を推進するため、中国湖南省湘潭大学と学術交流協定を締結するなど交流協定大学を拡充します。
	サギノーバレー州立大学との交換留学制度の創設	姉妹大学サギノーバレー州立大学への留学制度の充実を図り、留学生の学費の全額免除や生活支援のための奨学金支給など交換留学制度を創設しました。
	中国湘潭大学との教員交流に関する覚書を締結	本学と湘潭大学において、教員交流並びに教育及び研修における戦略的連携の推進と発展を目的として、客員学者の交換、教員及び講師の交換の諸活動を促進するための覚書を締結しました。
	国際戦略プログラムの策定	国際社会に開かれた大学を目指し、留学生・研修者の交流を推進するため、5つの基本戦略からなる「四国大学国際戦略プログラム」を平成25年12月に策定しました。
	徳島工業短期大学との連携協定を締結	両大学の教育研究及び社会貢献活動を目的に包括連携協定を締結しています。
	地域教育・連携センターの設置	本学と地域社会との連携・協力体制の強化を図り、教育研究の成果を積極的に地域社会に還元するとともに、地域教育の充実及び地域の活性化を目的とした地域教育・連携センターを設置しました。

分野	実施事項	実施内容
6. 社会・地域への貢献と国際化	スーパーサテライトオフィス(SSO)の開設	文部科学省で採択されたCOC(地(知)の拠点)整備事業を円滑に実施するため、県西部(美馬市)と県南部(美波町)にスーパーサテライトオフィスを開設しました。
	地域の教育力を活用した「人材バンク」、「とくしま学データベース」の作成	本学と徳島大学及び地元経済団体等で構成する「徳島県人材育成連携会議」において、地域人材を募集登録する「人材バンク」及び地域教育教材として活用する「とくしま学データベース」を作成しました。
	グローバルコミュニケーション라운ジの整備	学生と留学生の相互交流の場として、国際文化館にグローバルコミュニケーション라운ジを開設しました。
7. 附属幼稚園の改革	附属幼稚園ホームページのリニューアル	園児募集に資するため、附属幼稚園ホームページをリニューアルし、平成26年9月より運用しています。
	附属幼稚園と保育所の連携事業の推進	本学附属幼稚園と3保育所(附属乳児保育所、附属保育所、附属西富田保育所)による連携事業を推進しています。
8. 戦略性のある大学運営	事務組織の改編	業務の効率化、迅速化を図るとともに、簡素でかつ組織間のコミュニケーション力を高めることを目的とした大幅な組織改編を行いました。
	四国大学経営戦略の策定	本学の建学の精神に基づいたビジョンのもと、経営戦略の最重点項目として8項目を設定することを平成25年3月28日の理事会において決定しました。
	SD活動の充実	職員の資質向上のため、SD活動と研修制度の充実を図っています。
	教務部門職員養成プログラム研修制度の創設	職員の専門性を高めるため、教務部門に特化した職員養成プログラムを策定し、研修会を実施しました。
	人事制度の改革	新しい人材育成制度と人事システムの構築により、教職員の資質向上に努め、活力ある大学づくりを推進しています。
	教職員業績等評価制度の構築	教職員の業績等に係る評価制度についての指針を定めるとともに、評価を実施するための要項をとりまとめ、平成26年度から実施しています。
	四国大学交流プラザ北壁面にLED電光掲示板を設置	学外への広報活動促進のため、四国大学交流プラザ北壁面にLED電光掲示板を設置し、行事やお知らせなどを随時発信しています。
	大学改革学内フォーラムの開催	大学改革に関する取り組みや意見交換等を通じて、学内教職員の意識改革と情報共有を図るため、大学改革学内フォーラムを開催しています。
	四国大学教育研究振興寄附金制度の創設	本学の教育研究環境の整備・充実と学生支援のため、教育研究振興寄附金制度を創設しました。
	大学改革(第I期)の外部評価の実施	大学改革第I期(2011～2012)が終了し、その達成状況を外部評価委員会による評価を平成26年3月にうけました。
四国大学しらすぎ球場オープン	四国大学女子サッカークラブの創部に伴い、鶴島運動場にFIFA公認サイズの人工芝球場がオープンしました。	